

# NetflixがTV業界に与える影響

前回の記事で、Netflix（それにRedbox）がビデオレンタル事業に与えたインパクトに関して書いたが、NetflixはTV放送業界にも大きな影響を与え始めている。Netflixの影響を一番先に受け始めているのはHBO、Showtime、Starz等の有料チャンネルである。有料チャンネルは、ケーブルTV等の多チャンネルサービス上でオプションとして提供されているサービスで、6,000万近い世帯が加入している。映画が主体だが、最近では「The Soprano」等のオリジナルTV番組にも力を入れている。

## Netflixの変貌

TVネットワークは月額十数ドルのオプションとして提供されている。これに対して、Netflixは\$10で、多チャンネルサービスへの加入を必要としない。また、Netflixはオンデマンドであり、見たい時に見ることができるメリットもある。NetflixのストリーミングサービスのWatch Instantlyでは新しい映画は見られないが、それらは定額料金内で郵送レンタルできる。これまでWatch Instantlyを見るにはコンピュータが必要であったが、コネクテッドTV、それにRoku、Apple TV等のデバイスの登場で、TVからでも見られるようになり、有料チャンネルとの差は減ってきた。

有料チャンネルとNetflixの大きな差は、オリジナル番組があるか、ないかになっていた。例えば、ヒットしている人殺しの検察医の『Dexter』シリーズを見るのには、Showtimeへの加入が必要である。しかし、有料チャンネルのオリジナル番組の多くは、放送後にNetflixで配信されており、待てばNetflixでも『Dexter』を見ることができる。コンテンツの再利用には加入者の多いNetflixは魅力的なプラット

フォームであり、有料チャンネルとNetflixとの関係は微妙なバランスで保たれていた。

しかし、Netflixは3月に、このバランスを崩した。同社は、HBO等が入札していたオリジナルTV番組シリーズの『House of Cards』の26エピソード分の権利を落札した。Netflixが支払った価格は発表されていないが、1億ドルに近いといわれている。Netflixは2012年後半からこの番組をWatch Instantlyで配信し始める。『House of Cards』は、TVでは放送されず、見たければNetflixに加入する必要がある。これにより、Netflixは有料ネットワークに真っ向から挑戦する会社になった。

## Netflixに敵対する 有料チャンネル

有料ネットワークは大きなショック

を受けている。Netflixとは、そのポジションが若干異なっていることで、完全な敵ではなかった。しかし、『The House of Cards』を購入したことでNetflixは有料チャンネル市場への挑戦を明らかにした。Netflixが成功すれば、DVDレンタル業界のように有料チャンネルも大きなダメージを受ける。この発表の直後に、CBS系の有料チャンネルのShowtimeは、この夏でNetflixとの契約を打ち切り、そのオリジナル番組の『Dexter』、『Californication』等のNetflixへの提供を止めることを決定した。Showtimeはその代わりに、Comcast等の多チャンネル事業者のVODで、これら番組の再利用をしていく。

有料チャンネルの中では、StarzがNetflixに好意的であった。いち早くそのコンテンツをインターネットでストリーミングし始めたStarzは、Netflixのパートナーとなり、同社がストリーミング配信の権利を得ている映画をNetflixに提供してきた。そのStarzも、今回のNetflixによるオリジナルTV番組の購入のニュースの後に、Netflixへのコンテンツの提供を現在よりも90日間遅らせることを発表している。

### \*The Compass ニュース\*

NSIリサーチは、アメリカのデジタル放送とインターネットTVの動向を伝えるマンスリーレポートのThe Compassを出版しています。The Compassのサンプル購読がご希望であれば、compass@nsirinc.comに会社名、氏名を含めたEメールをお送り下さい。

